

令和6年度「職員提案」の表彰式開催について

作成年月日	令和7年3月18日
作成部課名	財務部 県政改革課

日時

- ◆ 令和7年3月25日（火） 16:00～16:30
（取材をされる場合は、15:50までにお集まりください）

場所

- ◆ 県庁2号館7階 財務部長室 （財務部長から受賞者への表彰状の授与）

表彰提案の概要



最優秀賞

「庁内大学」の導入によるコミュニケーション活性化および優秀な人材の確保

- ・ 自治大学校派遣研修生や、デジCanコンテスト受賞者、経験者採用の方に講師役を担ってもらい、研修内容や受賞内容、前職での経験から活かせる知識の共有を図る
- ・ 「単位制科目」に組み込むことで、受講者が単位を取得できるようになり、庁内での積極的な受講の推進を図る
- ・ 外から優秀な人材を確保するだけでなく、庁内で有能な人材を育成する

現状と課題・効果

- ・ 庁内コミュニケーションのさらなる活性化や人間関係の継続的な維持が必要である
- ・ 学んだことを教え合う空気が庁内に醸成されれば、**コミュニケーションがより活発になる**
- ・ 講師を務めることで、**県庁を牽引する職員の育成、スキルアップが図れる**

審査意見

- ・ コミュニケーションの活性化という観点からは、県庁舎再整備に伴う働き方改革に即した提案内容であり、現状の課題に対応した提案である
- ・ **横のつながりが広がり、強くなることが期待できる**



優秀賞

共有フォルダ(NAS)の一括管理

- 本庁で大型サーバーを導入し、ネットワーク関係の部署で共有フォルダの一括管理をする

現状と課題・効果

- NASを各事務所で管理しており、容量管理やトラブル対応など**ネットワーク担当の業務負担が大きい**
- トラブル対応を早急に行うことができる

審査意見

- ペーパーレスの推進により膨大になってきたデータ容量の影響により、各課で共有フォルダ(NAS)を管理するのが難しくなっているため、一括管理するというのは非常に今の時代に合った提案になっている
- 一括管理を行うことで、トラブルが起きた際も迅速に対応できることが見込まれる
- 内部の職員からすると非常に有効性の高い提案内容である

入賞

災害時の職員安否確認のサブプラン(同趣旨提案が3件)

- 防災サイト(職員用)を作り行動を連絡できるようにする(Formsによる安否確認フォーム等)

現状と課題・効果

- 災害発生時、**職員の安否を登録するサイトがない**ため所属に安否や行動を連絡する方法が不明確で集計が不十分
- 安否確認の状況の集約が容易になり、発災時の事務作業を低減できる

審査意見

- 電話が駄目でもネットは繋がる場合も考えられる
- 他の自治体では災害発生時に、システムにあらかじめ登録されているメールアドレスに連絡があり、特定のURLをクリックするだけで安否確認が完了するようなシステムの導入がすすめられている

(参考) 令和6年度「職員提案」の概要

■ 制度の趣旨

- ◆ 県政改革方針で定める、「職員一人ひとりが行財政運営について自ら考え、各職場から自律的、多発的に業務の創意工夫や変革の提案がなされるイノベーション型の県政」を実現するための取組の一環として実施

■ 募集テーマ

- ①業務の改善に関すること
- ②新しい働き方の推進に関すること
- ③職員の人材育成に関すること 等

■ 提案件数

1 6 7 件

(参考) 令和5年度提案件数：3 5 7 件

■ 審査方法

- ◆ 各提案について、関係部局が評価を行った後、若手職員の柔軟な発想や多角的な視点が反映されることを目的として、7名の公募委員による「**若手職員審査会**」を設置し、有効性、経済性、研究・努力性の観点から審査のうえ、**表彰提案を選考**